

# 大気の中を軽やかに移動する音楽

ハンガリーとチェコ。これらの地域は、長きにわたってハプスブルク家の支配のもとにあった。もちろん、住民には一定の地位が与えられており、だからこそプラハでもペシュト(現在のブダペストのドナウ川左岸)でも、華やかな文化が花開きはした。しかし、それでも彼らは納得しなかった。

——ハプスブルク家から、オーストリア帝国から、ドイツ語から脱すること。

この悲願を、彼らはたびたび音楽という、かたちのない、しかしだからこそ大気の中を軽やかに移動し、するりと人の中に入り込むことのできる媒体に託した。結果としてその音楽は、故郷に対する誇りと、そしてまだ見ぬ自由へのあこがれの中で、独特のくすんだ色合いをたたえることになったのだった。

「クラシック」(2月28日)と題された日に取りあげられるのは、まさにそんな音楽の数々だ。チェコの西部であるボヘミアを代表するドヴォルザーク作品、そしてチェコの東部モラヴィアを代表するヤナーチェク作品。チェロを欠いた特異な編成の弦楽三重奏である前者と、スラブ民謡を基にした後者、それぞれの「訛り」に浸ったあとでは、帝国の中心ウィーンから中欧を逆照射するシューベルトの五重奏は、必ずや今までとはちがった響きに感じられることだろう。

一方、「モダン」(2月26日)の前半は、共にブダペストの音楽院で学んだコダーイとリゲティという、20世紀ハンガリーを代表する両巨頭の作品。2つの弦楽器の絨から濃厚な土の香りが漂ってくる前者、そして微分音を用いた独奏がルーマニアからバルカン半島に至るさまざまな民族音楽と触れあってゆく後者には、異なったかたちで「中欧」が封じ込められていよう。さらにこの日の後半で奏される「さまよえるチェコ人」マルティヌー作品、20世紀末に再度の独立を遂げた後のチェコを代表するスルンカ作品は、伝統との新しい向き合い方を示す音楽だ。

諏訪内晶子というプリズムを通して、中欧音楽の魅力を再発見する2日間。

沼野雄司 (音楽学)



© Kiyotaka Salto

**諏訪内晶子**  
(ヴァイオリン) / 国際音楽祭NIPPON2026芸術監督  
Akiko Suwanai  
Violin / Artistic Director of International Music Festival NIPPON 2026

1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでにポストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ベルリン・フィルなど国内外の主要オーケストラと多数共演。2012年より「国際音楽祭NIPPON」を企画し、同音楽祭の芸術監督を務めている。使用楽器は日本にルーツをもつ米国在住のDr. Ryuji Uenoより長期貸与された1732年製作のガールネリ・デル・ジェズ「チャールズ・リード」。



**ベンジャミン・シュミット**  
(ヴァイオリン)  
Benjamin Schmid, Violin

© Lienbacher

カール・フレッシュ・コンクール優勝。小澤征爾指揮ウィーン・フィルほか、ロンドン・フィル、コンセルトヘボウ管などと共演。40枚以上のCDをリリース。ザルツブルク・モーツァルテウム大学教授。ミュンヘン国際をはじめ、国際コンクールの審査員を務める。



**赤坂智子**(ヴィオラ)  
Tomoko Akasaka, Viola

第53回ミュンヘンARD国際音楽コンクール・ヴィオラ部門3位。ジュネーヴ音楽院で今井信子に師事ならびに同校助教に就任。デュッセルドルフ音楽大学、ライプツィヒ音楽大学客員教授を経て現在ミュンスター音楽大学教授。ジュネーヴ国際コンクールを始めとする国際コンクールの審査員を務める。



**鈴木康浩**(ヴィオラ)  
Yasuhiro Suzuki, Viola

読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者。第7回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部第1位ほか受賞多数。2001年よりカラヤン・アカデミーで研鑽を積み、ベルリン・フィルの契約団員となる。天下統一アンサンブル、宮崎国際音楽祭など多方面で活躍。



© Nikolaj Lund

**イエンス＝ペーター・マインツ**(チェロ)  
Jens-Peter Maintz, Cello

1994年ミュンヘン国際音楽コンクールにおいてチェロ部門17年ぶりの優勝者となる。2006年よりクラウディオ・アバドの招聘をきっかけにルツェルン祝祭管弦楽団ソロ・チェリストを務めている。これまでにアシケナーゼ、プロムシュテットらと共演。2004年よりベルリン芸術大学教授。



©KING RECORDS

**辻本玲**(チェロ) 2/28(土)公演のみ出演  
Rei Tsujimoto, Cello

2009年ガスバール・カサド国際コンクール第3位(日本人最高位)。2013年齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。NHK交響楽団首席チェロ奏者。NPO法人イエロー・エンジェルよりストラディヴァリウスを、弓は匿名のコレクターよりTourteを特別に貸与されている。



© Shin-joongKim/MOC

**ソン・ミンス**(ピアノ)  
Minsoo Sohn, Piano

韓国系アメリカ人。特にバッハとベートーヴェンの解釈において、このレパートリーの第一人者とされている。2020年秋ソニークラシカルより9枚組の「ベートーヴェンピアノ・ソナタ全曲」をリリース。2023年秋、ニュイングランド音楽院ピアノ教授陣に加わった。

## ＜特別料金＞ [ジャパン・アーツびあにて受付]

◎**シニア割引** 65歳以上の方は¥8,100、¥4,500でお求めいただけます。(横浜みなとみらいホールチケットセンター、神奈川芸術協会でも受付)

◎**AKIKOシート** 社会人学生を除く25歳までの学生が対象です。座席は選べません。公演日当日、ホール入口前に設置する<AKIKOシート>チケット引換窓口にて、年齢が確認できるもの(学生証・保険証など)をスタッフが確認の上、引換券と公演チケットを引換させていただきます。年齢証明がない場合、一般価格との差額を頂戴いたします。

◎**車椅子の方は**、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツびあホールセンターにて受付)

## ＜次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。＞

①やむを得ない事情により、出演者、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。指定の座席にてご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因となりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

## 【国際音楽祭NIPPON2026 公演スケジュール】

- ◆ **サッシャ・ゲッツェル指揮 諏訪内晶子(ヴァイオリン)**  
**国際音楽祭NIPPONフェスティバル・オーケストラ**  
2月10日(火)19:00 東海市芸術劇場 [問]東海市芸術劇場 0562-38-7030  
2月11日(水・祝)17:00 横浜みなとみらいホール 大ホール  
[問]ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212
- ◆ **諏訪内晶子 & フレンズ in 久慈・石巻**  
2月21日(土)14:00 久慈市文化会館(アンバーホール) [問]同左 0194-52-2700  
2月22日(日)14:00 マルホンまきあーとテラス(石巻市複合文化施設)  
[問]同上 0225-98-5630
- ◆ **ミュージアム・コンサート**  
2月23日(月・祝)19:00 トヨタ産業技術記念館 エントランス・ロビー  
[問]クラシック名古屋 052-678-5310

- ◆ **室内楽プロジェクト Akiko Plays CLASSIC & MODERN with Friends ～中欧の旅**  
◇ **SELECTION**  
2月25日(水)19:00 東海市芸術劇場 [問]同左 0562-38-7030  
◇ **MODERN**  
2月26日(木)19:00 横浜みなとみらいホール 小ホール [問]ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212  
◇ **CLASSIC**  
2月28日(土)14:00 横浜みなとみらいホール 大ホール [問]ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212
- ◆ **フォーレ 室内楽全曲マラソンコンサート**  
3月1日(日)11:00 横浜みなとみらいホール 大ホール [問]ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212
- ◆ **公開マスタークラス<ヴァイオリン部門><チェロ部門>**  
3月2日(月・3日(火) 横浜みなとみらいホール 小ホール ほか  
[問]ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212